

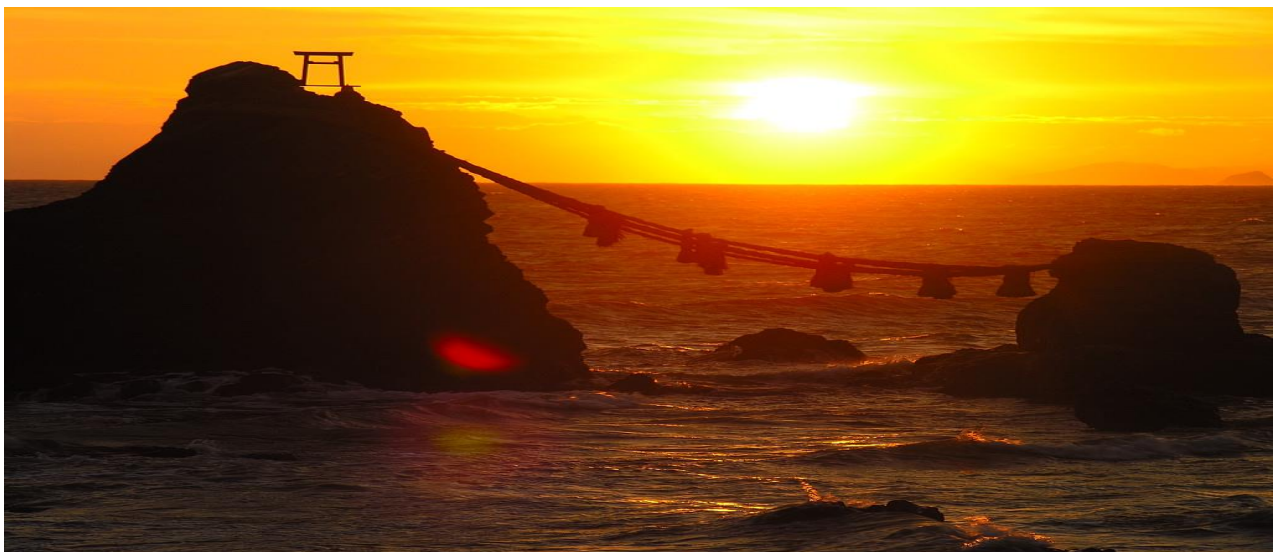
基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2019/01/01

第 43 号

新年明けましておめでとうございます



シニアクラブ・宮園哲郎会長あいさつ



昨年は基幹労連シニアクラブの活動に多大な
ご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。

本年が会員ならびにご家族の皆様にとって
幸せな年になりますようお祈り申し上げます。

今年も引き続き「生き生きと安心して暮らせる社会」を目指し、基幹労連ならびに退職者連合と連携をとり、基幹労連の産業政策を支援するとともに、年金・医療・介護を中心とする社会保障制度の充実など、諸政策の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

春の統一地方選挙・夏の参議院選挙においては、基幹労連が推薦する候補者全員の当選に向け、各々の出身組織と一体となって取り組みます。とりわけ参議院比例代表選挙においては、「田中 ひさや」氏の当選を果たし、今日の歪んだ政治状況を何とかして正していかなければなりません。

活動の主体である各県本部退職者組織の拡充によって、力を発揮できるシニアクラブを目指します。今年もなお一層のご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

基幹労連・神田健一中央執行委員長あいさつ

働く仲間・生活者の笑顔を守るために



明けましておめでとうございます。

基幹労連退職者の会の皆様には、ご家族おそろいで健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

基幹労連は、昨年、結成から15年を迎えました。組織拡大も徐々に図られ、足下27万人の仲間からなる組織となり、産別統合の目指した姿に向け一步一步着実に歩みを進めております。これまでの大所高所からのご指導に、あらためて感謝を申し上げます。

取り巻く環境は、通商摩擦や地政学的課題を抱える世界情勢の中、国内においては超少子高齢社会のもとで労働力人口の減少や社会保障問題、さらにはIoT、AIの進展による第4次産業革命の到来など、私たちの働き方や生活にも関わる、避けて通れない課題が山積しておりますが、先達から引き継いだ変化への対応力に磨きをかけ、さらなる産別運動の発展を期していく決意です。

これらの課題解決に向けては、政治のプロセスを通じた取り組みが欠かせません。春の統一地方選挙、そして夏の参議院議員選挙と続きますが、とりわけ、第25回参議院議員選挙「田中ひさや」の必勝は、その先につなぐための重要な取り組みであり、退職者の会の皆様のご支援なくして成し得ません。旧に倍するご指導と、ご協力を切にお願い申し上げます。

基幹労連は、引き続き、あらゆる取り組みにおいて「ど真ん中に人」を掲げ、働く仲間とその家族、生活者の笑顔をつくる諸活動を展開してまいります。

本年が、皆様にとりまして、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭に当たっての挨拶と致します。

ご安全に

退職者連合・人見一夫会長あいさつ

新年あけましておめでとうございます

今年は、政治決戦の年です。政治の流れを変えましょう。日本退職連合は連合が推薦する全ての候補の当選をめざして取り組みます。安倍内閣は、憲法改正発議をめざしています。国民の意思と全くかけ離れた政策を強行しようとしており、このようなことは認めるわけにはいきません。さて、日本は人口減少、超少子高齢社会に突入しています。2025年には75歳以上の人口が約3,600万人、4人に一人が75歳以上になります。さらに年を追う毎に、高齢化と人口減少は進行します。高齢化が進む中で社会保



障のための財源確保は喫緊の課題です。不公平税制の是正、安定した雇用と労働分配率改善などが求められています。持続可能な社会保障制度確立の問題、特に年金、医療、介護の等の充実に向けた取り組みなど、多くの重要課題が山積みしております。日本退職者連合は、政策・制度要求を決定し、政府や政党に要請行動を行い、あわせて地方退職者連合の皆様も各県、市区町村への要請の取り組みを展開しております。こうした具体的な行動を通して、中央、地方での退職者連合が、住民からの信頼を得る組織となるよう今後も努力していきましょう。

各県退職者の会総会報告

千葉県本部退職者の会第6回総会を開催

千葉県本部退職者の会第6回総会は10月27日（土）千葉市内にて開催いたしました。総会には、来賓として本部シニアクラブ宮園哲郎会長をお招きし、千葉県本部退職者の会会員10名、現役役員3名が出席しました。

冒頭、野村会長から、今年は自然災害が多かったことを振り返り、今後はそれへの備えが重要であること、また来春の統一地方選挙では組織内議員3名（千葉市議1名、木更津市議2名）が立候補される予定であり、その必勝に向けて支援していくこと、加えて第25回参議院議員選挙においては、JAM出身の田中ひさや氏を基幹労連が共闘した取り組みを展開していく等について触れられ、千葉県本部退職者の会として精一杯の支援を行っていく旨のご挨拶がありました。

総会においては、本部退職者の会からの要請に対応していくとともに、千葉県本部退職者の会の会員を増やしていくことや、会員相互の親睦行事を開催していくなどについて確認しました。

総会後の懇親会においては、初めての参加者もあり、久しぶりに旧交を温めるとともに、今後の退職者の会の取り組みについて等意見を交わしました。



総会を閉めるガンバロー三唱

福岡県本部退職者の会第5回総会を開催



福岡県本部退職者の会 宮崎 和彦会長

福岡県本部『退職者の会』は、2018年1月18日（日）、福岡県大牟田市において、第5回総会を開催しました。

本総会においては、福岡県下より17名の会員が集い、宮崎会長の挨拶をはじめ、福岡県本部幸野委員長ならびに基幹労連シニアクラブ宮園会長からそれぞれご挨拶をいただき、終始和やかな雰囲気の中で議事が進められました。前回総会からの活動報告の承認を受けた後、2019年の活動計画（案）の審議事項が提起され、満場一致で決定されました。

総会終了後は懇親会を開催し、大牟田市での開催であったことから、大牟田地区構成組織の三役にも参加頂き、現役役員との交流を図るとともに、会員同士においては懐かしい話も含め大いに盛り上げていました。

懇親会終了にあたっては、来年の総会においても、全員が健康で元気な姿で顔を合わせる事が出来るよう、日々の体調管理には十分注意することを誓い合って本会を終えました。

福岡県本部退職者の会は、現在の会員が43名であることから、事務局としても会員拡大に向けた積極的な活動が喫緊の課題であると受け止めており、福岡県本部加盟組合元三役に対し幅広く加入に向けた声掛けを進めていきたいと考えています。

兵庫県本部退職者の会第13回総会を開催

兵庫県本部退職者の会は12月10日（月）明石市で第13回総会を開催しました。

本総会には、基幹労連シニアクラブの西澤副会長、兵庫県退職者連合の高原会長をご来賓に迎え、役員13名、代議員15名、組織内議員3名、役員出身組織代表者6名、県本部代表および事務局の総勢48名が出席し、盛大に開催されました。

総会では、2018年度の活動報告を確認し、2019年度の活動方針では、基幹労連退職者の会の方針に沿った活動の推進をさらにすすめていくことを確認しました。



兵庫県本部 退職者の会

松浦 典雄代表

さらに、本総会より新規加盟となる「基幹労連兵庫県本部東地区 OB 会」（旧鉄鋼尼崎地区 OB 会）より山根副会長に出席いただき、ご挨拶をいただきました。

基幹労連兵庫県本部東地区 OB 会の新規加盟については、旧鉄鋼尼崎地区 OB 会として 12 月 20 日（日）に開催いたしました第 21 回総会において、基幹労連の仲間として一定の役割を果たすべく発展的に解散し、新たに三菱マテリアル三田工場労組とも連携を図り、組織名称を「基幹労連兵庫県本部東地区 OB 会」として基幹兵庫退職者の会への加盟を決定しました。



兵庫県本部 東地区 OB 会
山根 敏弘副会長

これまで、単組 OB 会として基幹兵庫の退職者の会への加盟はありましたが、地区 OB 会組織としての加盟はこれが初めてとなります。

地区 OB 会組織での加盟という新たな道筋を示しながら、基幹兵庫退職者の会として一丸となり、さらなる活動の展開と発展を会員相互に誓いあい、本総会を無事に終えることができました。

最後に、2019 年度は、政策実現活動の最重要年度でもあります。基幹兵庫退職者の会としても、政策実現に向けて、最大限の協力を行いますので、皆さんも一緒に頑張りましょう!!



基幹労連兵庫県本部 退職者の会役員一同

宮城県本部退職者の会第2回総会を開催

宮城県本部退職者の会は、12月19日(水)に仙台市で第2回総会を開催し、今後の組織運営や活動のあり方などについて議論しました。総会には、来賓として基幹労連宮城県本部の青田浩一委員長と和良品賢朗副委員長、基幹労連退職者の会宮園哲郎会長も出席し意見交換・交流を深めました。

当会は2014年8月に第1回総会を開催し発足しましたが、以降今日まで総会や役員会など会議開催はもとより具体的活動を展開しきれずに推移してきました。

今回の総会では、その反省に立って、退職者の会設置の趣旨・目的に沿って諸活動を展開していくことをあらためて確認しました。

具体的には、基幹労連宮城県本部との緊密な連携のもと、会員相互の交流・親睦を深めることや、各種選挙における基幹労連推薦候補者の支援活動、構成組織毎のOB・退職者組織設置を含む組織拡大などの活動推進に向けた意志結集を図ったところです。

総会後の懇親会では、和やかな雰囲気の中で旧交を温めるとともに、新たな出発に向けて、退職者の会の組織活動のあり方や参議院選挙の取り組みについて意見を交わしました。



総会出席者一同